

## 30199その他の土木工事業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	積み上げたブロックの上で、新たにクレーンで吊り上げたブロックを積み上げるため、二人組でブロックの向きを整えていたとき、バランスを崩して転落した。	69	1	522	1~9
2	2017	12	10~11	アパート駐車場の舗装工事中に、4tダンプトラックを移動するため、4tダンプトラックに乗車して運転席ドアを閉める際に慌てていて、人差し指の先を挟んでしまった。	66	7	221	1~9
3	2017	12	15~16	当社機材センター内にて、ミキサーの清掃作業中、セメントが飛び誤って両目に入った。	56	4	529	1~9
4	2017	12	14~15	会社内倉庫で材料の片付けをしている時に、2人でパイプを運搬中に転倒してしまい、持っていたパイプと壁に指を挟んでしまった。当日、雪が降っていたので足元が滑りやすくなっていた為、十分注意はしていたが、雪下の碎石でつまずいてしまった。	65	2	417	1~9
5	2017	12	16~17	会社の置き場にて、トラックへの積み込み作業中、地上2.4m程の高さのトラックの荷台のふちで作業をしていたとき、足を滑らせて転落し、脇腹を打った。	21	1	221	1~9
6	2017	12	9~10	法面工事現場内にて、一度緊張をかけたアンカーの緊張を解放する為に、現場内にあったアンカープレートを利用して、油圧ジャッキにて緊張をしながら楔を抜こうとしたところ、アンカープレートが横滑りし、一度受圧板に当たって跳ね返った先	47	4	149	10~29

				の被災者の左大腿部にアンカープレートがあたり、被災者が転倒した。				
7	2017	12	16~17	土場の倉庫内で作業中に発電機（50kg程度）を1tトラック荷台より移動させるため持ち上げようと力を入れたところ腰に激しい痛みを覚えた。	61	19	612	10 ~ 29
8	2017	11	14~15	植栽を行うため床掘削の作業中、スコップで土を抱えながら体勢をひねった時に、手術を行ったことのある右半月板付近に違和感を感じた。	34	19	911	1~ 9
9	2017	11	12~13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	2	522	1~ 9
10	2017	11	15~16	剪定作業中2mの脚立を使用し、約1.8mの高さで作業をしていたところ脚立が斜めになり、バランスが崩れそのまま脚立と一緒に倒れ近くにあった石に右手を強打して、手首、薬指、親指を骨折した。	55	1	371	1~ 9
11	2017	11	11~12	個人邸にて庭木の剪定作業をしている時に、脚立の高さ1.8mの所よりバランスを崩してコンクリートの地面に落下した。その際、右膝の皿を骨折し、その衝撃で、次にアゴを引いたように頭のとっぺんをコンクリートに強打した。その状態は、首の頸椎に2ヶ所、ヒビが入った状況である。頭も三針程度の損傷あり。	31	1	371	1~ 9
12	2017	11	11~12	作業場土場にて、パートナーカッターで直径150mmの水道管をカットする作業中、手元が滑り、反動で刃が顔面右側に直撃し、負傷したもの。	53	8	159	10 ~ 29
13	2017	11	15~16	温泉掘削工事現場において、掘削機械にドリルパイプを追加後、親ロッドを巻き上げてミッションスリップを引き上げる際に右手を親ロッドに添えた状況で巻き上げた。親ロッドが巻き上がることで、スピンドル内に右手小指が挟み込まれて負傷し	56	7	149	1~ 9



21	2017	10	10～ 11	支障木伐採のため、チェーンソーで木を切っていたが木が完全に倒れなかったため、再度チェーンソーを木に当てたところ木が突然倒れチェーンソーに当たった。その反動でチェーンソーが左足の甲に当たり負傷した。	19	8	136	1～ 9
22	2017	10	13～ 14	顧客様の松の剪定作業を行っていた時、脚立の地上部より2m付近からバランスを崩し転落し、脚立に鼻下を強く打ち裂創及び口唇内側を挫創した。転落した場所にあった石に背中を強打ち、強い痛みと腕の痺れがでた。	67	1	371	100 ～ 299
23	2017	10	6～7	当日、車両の整備のため点検作業（トラックの当社保管駐車場所において）を行っていた。荷台の点検をするため運転席後部に据え付けてあるハシゴを登ったところ、過って足を踏み外し高さ1.2メートルから落下し、腰部を打撲したもの。	65	1	221	1～ 9
24	2017	10	9～ 10	台風災害の倒木で、水路をまたいで電線に倒れた木をチェーンソーで数ヶ所切り処理する際に、思わぬ方向へ倒れ、足を挟まれる。	45	5	712	1～ 9
25	2017	10	8～9	自社所有の造成前の土地に、工事看板を取り付けようとした時、入り口の坂道でつまずき、転倒して左肩を打ってしまった。	51	2	417	30 ～ 49
26	2017	10	15～ 16	公道にて掃除作業中に、相手のトラックが後進し後方の不注意により、ブロック塀とトラックの間に挟まれ負傷した。相手は後方に誘導員を配置しておらず、気づいた時には、挟まれていた。カラーコーンは後進時に気づいていた。	68	17	221	1～ 9
27	2017	10	8～9	交差点において、現場に向かって走行中、右折して来た車両（コンクリートミキサー車）が信号を無理したため衝突してしまい、頭部損傷によりドクターヘリで搬送された。	37	17	231	50 ～ 99
28	2017	10	15～ 16	公園の維持管理業務において、背負式ブロアにて落葉の集積作業中に、法面の落葉を飛ばそうと足を1歩法面にかけてところ、足を滑らせ転倒し被災した。	69	2	417	10 ～ 29



35	2017	9	10～ 11	砂利採取場敷地内で除草作業中、刈機で小さな石が弾かれ、左目に入った。	47	4	391	10 ～ 29
36	2017	9	13～ 14	現場は山肌であり、排水路管を移設する作業であった。作業員2名で管の撤去を行う前で前後に並んで会話をしながら、山肌を歩いていると被災者の会話が急にとぎれ、一緒にいた作業員が付近を探したところ、山肌に直径60～80cm位であろうと思われる穴を発見し、その穴をのぞいたところ被災者が落ちていて、おおむけの状態であるのを発見した。落下深さはおおむね5～8mぐらいあると思われる。	25	1	414	1～ 9
37	2017	8	5～6	作業現場へ25tラフタークレーンで向かうため、県道を走行中、左側に寄っていることに気づかず、左側路肩に左前タイヤが落ちてしまい、ブレーキを踏んだが間に合わず、左側にクレーンが大きく傾き、そのまま土手下に転落し、負傷した。救急搬送され、肋骨・尾てい骨の骨折と診断された（自損事故）。	54	17	212	10 ～ 29
38	2017	8	9～ 10	資材置き場（兼工場）において、3m程の高さにある排水パイプ（塩ビ管）をノコギリを使って切断しようとしていた。その際、梯子に登って作業をしていたが、切る作業の振動などにより、梯子がずれて倒れ、本人も約1.5mの高さから落下した。	67	1	371	1～ 9
39	2017	8	8～9	チェーンソーを使用して伐倒木の造材作業を行っていたとき、チェーンソーの刃が反発し、被災者の大腿部に当たった。	55	8	169	1～ 9
40	2017	8	16～ 17	現場で車庫の屋根のペンキ塗りをしていた。脚立を2つ並べ、その間に足場板を掛け、その上に乗り作業をいていたところ、体のバランスを崩したため、飛び降り、左足踵の靭帯を損傷した。	50	3	371	1～ 9
41	2017	8	10～ 11	会社資材置場で鉄板（800kg）の整理整頓中、吊荷の鉄板が振られて、離れようとした際に足元に角材があり、躓いて左足首を捻った。	57	2	417	1～ 9

42	2017	8	10~ 11	材料を積み降し中、石に躓き足を挫いた。	63	2	417	1~ 9
43	2017	8	16~ 17	庭の樹木剪定作業中、隣との境界の竹を切るためフェンス（高さ1.2m）を乗り越えた時、ズボンの裾がフェンスの針金に引っかかり体のバランスをくずして落下した際、右足ふくらはぎから出血しており、すぐに救急車で病院に搬送され診察の上、入院となる。	20	1	416	1~ 9
44	2017	8	11~ 12	残材捨て場において、2tダンプが停車した状態で、合図者がダンプ運転手を誘導して荷下ろし作業中に積荷枕木が跳ねて左足後部を負傷した。	64	6	221	1~ 9
45	2017	7	16~17	現場から自家用車で事務所に戻る途中、交差点を青信号（矢印信号）で直進していた。前方右側から自転車に乗った70代の男性が南側から斜めに横断してきたため、視界に入らず、ブレーキが間に合わなかった。自転車は赤信号にて交差点内に進入した。	25	17	231	30 ~ 49
46	2017	7	10~11	深さ25mの立坑内にある人孔築造工事の現場にて2人で測量中、被災者も測量作業のために梯子を降り現場に向かっていた。約10m地点の4段目踊り場にて、安全帯から安全ブロックを取り外す際にめまいを起こし、安全ブロックのワイヤーが首に巻き付き擦れるように外れた。	40	8	379	10 ~ 29
47	2017	7	15~16	仕事中に嘔気及び手足背中がつかれる等の症状があった。	38	11	715	30 ~ 49
48	2017	7	15~16	国道で、道路沿いの草刈作業に従事していた。刈払機を使用して沿道のフェンスから出ている草を刈っていた際、刈払機の刃がフェンスに接触し、飛んできた破片が右目に入り負傷した。	56	4	169	10 ~ 29
				店の外周に於いて、除草作業後の刈草を集めようと草の下に手				30

49	2017	7	14~15	を差し入れた時、マムシに右手中指を咬まれ受傷した。	49	90	911	~ 49
50	2017	7	10~11	建設事業者土場草刈り作業において、空き缶等のゴミが散乱しているのが草で見えにくい状況の中、草刈り機の刃を草の根元にあてがい横に滑らせながら作業を進めていたが、落ちていた金属片（ゴミ）が刃の回転で勢いよく弾き飛び左手中指に当たって受傷した。	31	4	169	1~ 9
51	2017	7	14~15	場内工事用道路にて、敷鉄板盛り替え作業を行っていた。玉掛け作業完了後、重機作業半径の外に退避する際、敷鉄板上の泥で足を滑らせ転倒した。転倒した際に、右足くるぶしを敷鉄板の角に、強打し骨折した。	54	2	416	50 ~ 99
52	2017	7	16~17	土間の撤去が終わりトラックで運搬したガラ袋を持ってコンテナの後に来た時置いてあったガラ袋に隠れていた差し筋アンカーに左足の外側が当たり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。骨折していた。	65	4	523	1~ 9
53	2017	7	15~16	工事現場にて、間知ブロック1個を積工し易いように単独で並べる作業中、慌てていたため誤って隣の同ブロックとの間に左示指・中指を挟んでしまい負傷したもの。	33	7	419	1~ 9
54	2017	7	10~11	お寺にて、松や樹木の剪定作業をしている時に、12尺脚立の昇降時に、足を脚立から踏み外し、作業下の側溝部へ落下し、頭部の打撲裂傷になった。	78	1	371	1~ 9
55	2017	7	8~9	当社毎年恒例の、従業員海水浴の開催前準備のため、海水浴場の海岸で、海水浴当日使用する水上バイクの点検作業を終えて、トレーラーに積み込み作業中、急激な高波を受けて水上バイクの座席部分に股間部分を強打し、負傷した。	51	6	713	10 ~ 29
56	2017	6	11~ 12	当社施工現場付近の路上で、街路樹の剪定作業中に、チェーンソーを使って伐採した枝を切断していたところ、誤って左手小指から手首にかけて負傷した。	73	8	136	1~ 9

57	2017	6	8～9	現場内作業（柱状改良杭）中に、オーガー先端の拡張刃の作業不良に気づき、セットハンマーで不良箇所を叩いた際に、泥か礫が飛散し右目に当たり被災した。	50	4	143	1～9
58	2017	6	9～10	最終沈殿池北西外周部にて、ブルーシートを折り畳む作業をしていた（推定）際に、バックホウに対して後向きに作業を行っていた為、バックホウの移動に気付かず、移動してきたバックホウのキャタピラの下敷きになった。	68	7	142	30～49
59	2017	6	15～16	県道（路上）にて、買い物後、工務店資材センターへ帰社している時、突然加害者Aの車両がセンターラインを越えて、工務店Bの車両に正面衝突する。被災者は、助手席にてシートベルトをしていた。事故後、病院へ救急車にて搬送される。入院はせず、整形外科へ通院する事となる。	41	17	231	10～29
60	2017	6	15～16	現場にて4tトラックに塩ビ管を積み、荷台から降りる時、あおりを留める金具にズボンが引っかかり、落ちた時に左手手首を負傷した。	45	1	221	1～9
61	2017	6	10～11	加工場において、仮設材の整理をしていたところ、とび出していた角パイプにぶつかり転倒した。	65	3	521	10～29
62	2017	5	10～11	個人宅にて脚立に乗って剪定作業中、脚立の2段目から誤って足を滑らせて横向きに転落し、左肩の方が後ろにずれてへこみ、左手首を骨折した。	62	1	371	1～9
63	2017	5	10～11	落石防止網工の施工中に作業員が法面（高さ2.0m）から転落した。金網架設時、高さ5m付近の障害物に金網が掛かってしまい、それを作業員が手で外したあと降下中に高さ2m付近で転落した。法面降下中に金網用フックが付いていると思い親綱を外したところ、フックが外れており転落した。	53	1	711	1～9
			17～					10

64	2017	5	18	現場で堤防の確認中に、ブロックの上から転落した。	57	1	419	～ 29
65	2017	5	16～ 17	農道拡張工事による残土整地中、農道中央にあるバックホーの横を右側よりすり抜けようとしたところ突然バックホーが前進し、左足をキャタピラに轢かれる。	73	7	141	10 ～ 29
66	2017	5	8～9	資材置場において、工事資材の積み込み作業完了後、ふらついてトラックの荷台から落下した。	65	1	221	10 ～ 29
67	2017	5	9～ 10	工事現場内で敷地内の立木の枝の伐採作業中、落した枝をさらに短く切断しようとして右手にチェーンソーを持って、左手で枝を押さえて枝を切ろうとした時に誤ってチェーンソーを左腕に当ててしまい、左手前腕部を削ってしまう。	63	8	136	10 ～ 29
68	2017	5	16～ 17	会社機械置場で重機の整備後、帰るためにトレンチャーのキャタピラ（高さ70cm）から飛び降りたところ、着地時に右足首を捻った。	42	3	417	30 ～ 49
69	2017	4	11～ 12	自社ヤードで、フォークリフトを用い廃材を移動する作業をしている時に、バックをする際に後方確認が不十分だった為、後ろにいた被災者に接触し、足に怪我を負わせた。	17	7	222	10 ～ 29
70	2017	4	13～ 14	会社敷地内の倉庫でホースを切る作業をしているとき、カッターで誤って左太ももを切ってしまった。	24	8	364	10 ～ 29
71	2017	4	8～9	現場敷地内、K-1調整池にて重機（BF0.7?）移動時、重機足元が滑ったものと推測される。その際、一段下がっている水深1m程度の池へ運転席（キャビン）側より転倒し運転席全体が水没した。乗降口は左側で、転倒時池底で塞がったため脱出が出来なかったと思われる。	40	1	142	30 ～ 49
				土場において材料をトラックに積み込み作業中、抱えていた足				1～



80	2017	3	10~11	外構の工事をしていて、既存のパイプをサンダーで切断している時に、コンクリートに当たってサンダーが跳ね返って左手の甲を負傷した。	69	8	153	30 ~ 49
81	2017	3	7~8	工事前の準備時に、ユンボのバケットを2tダンプの荷台に2人で載せる作業の際、被災者がバケットから手を離すことが出来ず、荷台に置いてあったバールとバケットの間に左手薬指が挟まれてしまった。	41	7	612	10 ~ 29
82	2017	3	14~15	工事現場において伐採した雑木を処分するため、当社所有の4tユニック車に積み込み作業中、荷台に乗ってユニックで吊り上げた雑木（直径約20cm、長さ約4m、重さ約90kg）を適当な位置に下ろすように支えていたところ、手元の確認不足のため、下ろした雑木と積み込み済みの雑木との間に左手第4指先を挟み負傷した。	67	7	212	1~ 9
83	2017	3	14~15	建物内でボイラー修理作業中、地下のボイラー室へ入った際に入口の鉄製扉が倒れてきた為、止めようとし右手親指を挟まれ負傷した。	19	5	419	1~ 9
84	2017	3	11~12	小学校にて剪定時、はしごをかけて上っている途中、足を滑らせ転落してしまった。	60	1	371	10 ~ 29
85	2017	3	8~9	庭園の工事において、庭園の石を運搬中、石を両手で持ち上げたときに、足元がぬかるんでいたためバランスを崩し転倒し、左手中指を持っていた石と地面に挟み負傷した。	34	2	416	1~ 9
86	2017	3	8~9	当社作業所内において、2tトラックに材料（パネル等）を積み込み、その上にプレスト管（直径600mm、長さ5m）をトラックの屋根に立て掛けて積み込む作業中、ズレ落ちないようにロープを掛けるため、管とトラックのボディの間をくぐり抜けようとして、体をひねったときに腰に痛みが生じ、ぎっくり腰を起こした。	44	19	921	10 ~ 29

87	2017	2	15~16	タンクからの漏水による陥没の復旧作業に従事していた。ポンプ車によりコンクリートの打設作業中、コンクリートの入りを確認しようと覗き込んだ時、土砂が崩れ、土の塊が背中に当たった後、左足首を直撃した。	64	5	711	1~9
88	2017	2	15~16	当該現場において、下水道管の布設工事のため約2m地面を掘削した床面にて、管を繋ぐ作業をしていた。土留めのため側面に渡してある切梁サポートの管があったが、ちょうど頭の上にあったことを忘れ、作業直後に体を起こした際後頭部付近を強打し、首を痛め負傷したものである。	73	3	412	1~9
89	2017	2	14~15	ブレーカーでコンクリートを斫る際にノミの先端が滑り、スカタンとなりブレーカーの持ち手ごと落ち込んで、周囲にあった鉄筋に左手人差し指を挟み被災した。	42	3	169	1~9
90	2017	2	23~24	電線地中埋設工事現場で管路掘削中に地中障害物（鉄管）が確認されたため、掘削溝の中で電気グラインダーを使用し切断することになった。（このグラインダーは安全カバーの外されたものであった。）管を切断中、刃がかみ、回転方向に走り、左足首を切った。安全靴は着用していたが、ロータイプのものであった。	24	8	153	1~9
91	2017	2	14~15	バックホウで、原木を移動させるために被災者が原木にロープをくくっている時にバックホウのバケットが当たった。	76	6	142	1~9
92	2017	2	14~15	工事現場にて、重機でコンクリート殻を処理作業中に、コンクリート殻を堆積している所から、コンクリート殻の1つが落下し、仕分け作業をしていた被災者の足の指に当たった。	23	4	711	1~9
93	2017	2	11~12	ガス管150mm堀上工事においてガス管堀上作業完了後、残置ガス管の管端処理を行うには再掘削が必要となり、機械掘削には、山留材が支障となるため、山留材を撤去したところ崩壊し、落下したアスファルト（幅0.5m×厚さ0.1m×長さ2m）に右足を挟まれ、右下腿部を挫傷したものである。	32	5	711	—

94	2017	2	15~16	個人宅の裏法面土止め柵工事で、資材H鋼を2人で運び掘削した穴に投入するため、H鋼片方にワイヤーを結びクレーン仕様のユンボで1.5m位起こし引き寄せるため、作業員に退避する指示を出し実施したところ、待避位置が不十分でワイヤーから抜けたH鋼が作業員のヘルメットを押し上げ、体と共に、段差40cmある家の隙間に倒れH鋼が頭にあたり救急車で運ばれた。	62	4	372	1~9
95	2017	2	9~10	重機置場の仮囲い設置作業中ハシゴを使用し作業している際、ハシゴから足を踏み外し地面に落下して尾?骨を強打した。	62	1	371	—
96	2017	2	14~15	横断地下道の東側出入口部において、地下道内の作業（漏水補修）が終了し、後片付けをして事務所に戻ろうとした時、作業者（1.9tダブルピック）の周囲に堆積した細かな砂利に足を滑らせ転倒し、左手首を突いて負傷した。	51	2	417	10~29
97	2017	2	8~9	後片付け作業中、会社敷地内を徒歩で移動中、坂道で転倒し腰を強打する。下り坂で路面が凍結し滑り易くなっていたので注意していたが足元が滑り転倒した。転倒後、痛みが酷いので、休憩室で安静にしていたが、あまり改善されないで病院へ行き診察の結果、腰椎突起部が骨折していた。	41	2	719	30~49
98	2017	1	15~16	水源地試堀作業中に、ロッド（Φ140mm、L=6.0m／本）数本を接続して試堀孔に挿入し、そのロッドを引き上げて切断作業をする際、ロッドの切断に使用している大スパナを取り外していたが、容易に取り外す事ができなかったため、少しゆるめるためハンマーでスパナに打撃を加えようとした時、足元のバランスを崩し尻もちをついた。その時機械の台座のH鋼の角にあたり負傷した。	51	2	416	1~9
99	2017	1	10~11	資材置場にて、重機で整地作業後の箇所を歩いていたところ、地盤がゆるく下に空洞があり石と共に60cmほど滑落し、左足に石が落下し負傷した。	35	1	419	10~29

100	2017	1	2~3	会社倉庫内にてレンタル工具の整理を行う為、重さ約30kgのブレーカーのノミを交換する作業を行っていたが、誤って手元が滑ってしまい、ノミが付いた状態のブレーカーが右足の上に落下し、右足の甲を負傷した。	30	4	145	—
-----	------	---	-----	---	----	---	-----	---

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。